



# 平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 マルゼン

上場取引所 東

コード番号 5982 URL <http://www.maruzen-kitchen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 萬實 房男

TEL 03-5603-7755

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	39,793	3.2	3,737	1.5	4,081	2.7	2,845	5.2
30年2月期第3四半期	38,550	5.6	3,682	15.9	3,975	15.3	2,704	20.5

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 2,390百万円 (43.5%) 30年2月期第3四半期 4,233百万円 (74.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	175.96	
30年2月期第3四半期	154.54	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	54,636	34,236	62.7	2,117.23
30年2月期	51,207	32,266	63.0	1,995.38

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 34,236百万円 30年2月期 32,266百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		13.00		13.00	26.00
31年2月期		13.00			
31年2月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.2	4,303	0.4	4,679	0.7	3,229	0.9	199.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	19,780,000 株	30年2月期	19,780,000 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	3,609,440 株	30年2月期	3,609,439 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	16,170,561 株	30年2月期3Q	17,497,951 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、〔添付資料〕P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年11月30日)における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の通商政策に伴う貿易摩擦リスク等の懸念から、景気は先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である外食・中食産業におきましても、人件費の上昇や原材料価格の高騰等により厳しい経営環境が続いておりますが、一億総活躍プランにより、共働き世帯の増加に伴う外食・中食市場の増大や、子育て支援および超高齢社会に向けた社会保障関連施設の増加、一方ではインバウンド効果に伴う宿泊・飲食市場の活性化等により、市場は堅調に推移しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、397億93百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は37億37百万円(同1.5%増)、経常利益は40億81百万円(同2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては28億45百万円(同5.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①業務用厨房部門

主たる事業の業務用厨房部門では、業界トップクラスの豊富な自社オリジナル製品をベースとして、人手不足対策製品や作業環境改善製品、省エネルギー製品など、お客様の問題解決に資する製品のご提案を推進してまいりました。展示即売会・調理講習会等のイベント活動につきましては、テストキッチンを常設する拠点営業所を中心に内容のグレードアップと開催数を増やし実施中であります。

また、恒例の直・ルートの販促キャンペーンにつきましては、カタログ・チラシを十分に活用しながら実施してまいりました。

メンテナンスサービスの面では、日々の迅速確実な修理対応とともに、保守契約や洗剤・軟水器カートリッジ等の消耗品の販促に取り組み、お客様の安心安全と顧客満足度の向上に注力いたしました。

以上の結果、売上高は372億82百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は40億9百万円(同2.8%増)となりました。

#### ②ベーカリー部門

ベーカリー部門では、引き続き国内製パンメーカーへの拡販とともに、売上拡大に向けて異業種の各種食品メーカーや東南アジア地域を中心とした海外製パンメーカーの新規開拓に取り組みました。その結果、売上高は20億89百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は54百万円(同11.5%減)となりました。

#### ③ビル賃貸部門

5物件を有する土地と資金の有効活用を目的としたビル賃貸部門の業績は計画通り推移し、売上高は4億44百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は2億99百万円(同1.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ34億28百万円増加の546億36百万円となりました。

資産の部は、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末に比べ34億28百万円増加しました。

負債の部は、売上高の増加に伴う仕入高の増加により支払手形及び買掛金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ14億58百万円増加の203億99百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等で、前連結会計年度末に比べ19億70百万円増加し342億36百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月6日付公表の「平成30年2月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,835,449	20,914,566
受取手形及び売掛金	8,641,530	9,303,282
商品及び製品	3,142,572	3,121,656
仕掛品	643,440	610,792
原材料及び貯蔵品	1,066,791	1,101,147
その他	516,479	398,251
貸倒引当金	△8,672	△8,787
流動資産合計	31,837,590	35,440,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,981,006	15,988,496
減価償却累計額	△9,808,626	△10,060,632
建物及び構築物(純額)	6,172,379	5,927,863
土地	7,042,419	7,042,419
建設仮勘定	2,194	623,644
その他	8,292,093	8,597,838
減価償却累計額	△6,520,058	△6,678,654
その他(純額)	1,772,034	1,919,184
有形固定資産合計	14,989,027	15,513,111
無形固定資産	25,917	31,012
投資その他の資産	4,354,776	3,651,092
固定資産合計	19,369,721	19,195,216
資産合計	51,207,312	54,636,128

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,045,419	11,996,292
短期借入金	700,000	600,000
未払法人税等	785,368	537,548
賞与引当金	657,000	325,500
その他	2,112,423	3,386,816
流動負債合計	15,300,211	16,846,157
固定負債		
役員退職慰労引当金	290,700	309,940
退職給付に係る負債	1,730,811	1,780,638
その他	1,619,188	1,462,605
固定負債合計	3,640,699	3,553,183
負債合計	18,940,911	20,399,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,164,950	3,164,950
資本剰余金	2,494,610	2,494,610
利益剰余金	32,012,533	34,437,500
自己株式	△3,311,034	△3,311,036
株主資本合計	34,361,058	36,786,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,456,120	1,999,335
土地再評価差額金	△4,556,285	△4,556,285
退職給付に係る調整累計額	5,507	7,713
その他の包括利益累計額合計	△2,094,657	△2,549,237
純資産合計	32,266,400	34,236,786
負債純資産合計	51,207,312	54,636,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	38,550,625	39,793,881
売上原価	27,069,749	28,000,192
売上総利益	11,480,876	11,793,688
販売費及び一般管理費	7,798,808	8,056,122
営業利益	3,682,068	3,737,566
営業外収益		
受取利息	945	600
受取配当金	68,148	72,765
固定資産賃貸料	20,145	20,089
仕入割引	113,266	118,889
作業くず売却収入	106,923	113,031
その他	16,938	25,604
営業外収益合計	326,366	350,980
営業外費用		
支払利息	1,617	1,540
売上割引	3,240	5,221
自己株式取得費用	27,950	—
その他	429	492
営業外費用合計	33,238	7,254
経常利益	3,975,196	4,081,293
特別利益		
固定資産売却益	1,259	6,959
投資有価証券売却益	—	80,944
特別利益合計	1,259	87,904
特別損失		
固定資産売却損	995	600
固定資産除却損	1,073	31
特別損失合計	2,068	631
税金等調整前四半期純利益	3,974,388	4,168,565
法人税、住民税及び事業税	1,209,714	1,226,000
法人税等調整額	60,508	97,163
法人税等合計	1,270,223	1,323,163
四半期純利益	2,704,164	2,845,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,704,164	2,845,402

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	2,704,164	2,845,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,526,540	△456,785
退職給付に係る調整額	2,504	2,206
その他の包括利益合計	1,529,044	△454,579
四半期包括利益	4,233,209	2,390,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,233,209	2,390,822
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,132,033	1,974,062	444,529	38,550,625	—	38,550,625
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	29,944	—	29,944	△29,944	—
計	36,132,033	2,004,006	444,529	38,580,570	△29,944	38,550,625
セグメント利益	3,900,466	61,680	304,477	4,266,624	△584,556	3,682,068

(注) 1. セグメント利益の調整額△584,556千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△674,556千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,282,449	2,066,805	444,626	39,793,881	—	39,793,881
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	22,711	—	22,711	△22,711	—
計	37,282,449	2,089,516	444,626	39,816,592	△22,711	39,793,881
セグメント利益	4,009,402	54,581	299,971	4,363,955	△626,389	3,737,566

(注) 1. セグメント利益の調整額△626,389千円には、セグメント間取引消去90,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△716,389千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。